



令和4年度 飯塚市立伊岐須小学校通信
いぎすだより

〈学校目標〉未来を拓く基礎となる「かしこく」「やさしく」「たくましい」児童の育成

令和4年7月20日

第6号

児童数 527名

校長 桂 芳州

1学期、あいさつはできた？夏休みには何にチャレンジする？～終業式の話

今日で1学期が終わります。今学期も学習参観が中止になったり、水泳の授業ができなかったりと新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった行事もありますが、感染状況を見て、できるだけ通常に近い教育活動を行うようにしていきました。その結果、4年見学旅行や5年スキー体験、6年修学旅行等は無事に終えることができました。保護者の皆様のご理解とご協力、本当にありがとうございました。さて、今日は終業式。終業式で、私が子どもたちに話した内容を掲載します。

さて、私が4月の始業式にしたお話を覚えていますか？始業式の時は、「これから出会う新しい人たちとうまくつきあうことができるきっかけとなる、とっておきの方法だよ」と言って話しました。「難しい方法ではなく、誰でも、たった5秒でできることだよ」とも話しました。私が始業式で話したのは、伊岐須小学校のみんなには、あいさつを進んでできる子になって欲しいと思っている。という話でした。そして、いろいろあるあいさつの言葉の中でも3つの言葉を言えるようになってください。と話しました。1つめは、「おはようございます」2つめは、「ありがとうございます」3つめは、「さようなら」です。どうですか？今までの自分と比べて、この3つのあいさつを進んでできるようになっていますか？

また、相手に伝わる いいあいさつのコツ も教えました。相手を見ること 笑顔であること 相手に届く声ですること の3つです。1学期間、みんなのあいさつを見てきて、前よりもずいぶんあいさつが上手な「あいさつ名人」が増えてきたなあと思います。また、皆さんの勉強の様子を見て回っている時に、教室に貼ってある「あいさつの木」にたくさんの花が咲いているのを見ると、とてもうれしいきもちになります。これからも続けてくださいね。あいさつについて、もう少しだなあと思っていることを2つ言います。1つ目は、「すすんであいさつをする」の「すすんで」のところ。先生からあいさつをしてあいさつを返してくれる人はたくさんいるのですが、私が言う前に先にあいさつしてくれる人は、残念ですが、まだ多くいません。ぜひ、「すすんで」あいさつができるようになってほしいと思います。2つ目は、地域の方へのあいさつです。夏休みは外で遊ぶことも多くあります。その時に、伊岐須の地域に住んでいる方にも進んで、心のこもったあいさつをしてほしいと思います。2学期になり、地域の方から「伊岐須の子はよくあいさつをしてくれますね」という声が校長先生のところに聞こえてくるのを楽しみにしています。

あいさつの他に、夏休みを前に、皆さんにもう1つだけ伝えたいことがあります。それは、今年の夏休みは、何かにチャレンジする夏休みにしてほしいということです。明日から夏休みが始まりますが、たくさん休みがある、とって何にもしないしていると、夏休みはあっという間に終わってしまいます。せっかくの長い休みですから、「今年の夏休みは〇〇にチャレンジした」と言える夏休みにしましょう。例えば、「サッカーのリフティング100回以上」とか「家の人においしい料理をつくってあげる」とか、「本を20冊以上読む」とかです。自分が努力してできること、自分や家族のためになることにしましょう。そのために、お家の人と相談して、チャレンジする内容を決めます。決めるのは、明日ではなく、今日中にしましょう。夏休みだと挑戦しやすいことがいいですね。校長先生も挑戦することを今日中に決めて夏休みを過ごそうと思います。

夏休みの途中に出校日もありますが、9月1日には、みんな元気な顔で2学期の始業式ができることを願っています。それでは、良い夏休みになることを祈って私のお話を終ります。

今日はぜひ、お子様と一緒に夏休みチャレンジすることについて話し合っただけならば幸いです。夏休みの間に体と心の調子をしっかりと整えて、長い2学期に備えられるようご家庭でもご指導のほどよろしくお願ひします。本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございました。